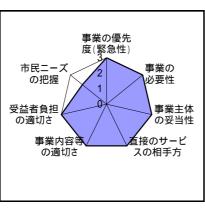
行政評価シート(事前評価)

(85	下 事務事業名 i) 8-1-5 都市計画道路整	攝事業(西	3·4·21号線	!)		而缺 i整備部道路建設認	果(旧都市計画課)	
	事務事業の目的					根拠法令等		
事務事	ひばりが丘駅北口と西東京都市計画道路3·4·13号線及び新座都市計画道路3·4·13号線とを結び、ひばりが丘駅北口地区の整備を行い、交通アクセスを円滑にする。また、周辺地域の活性化を図る。 完成目標年度平成25年度							
業	事業内容·実施方法等							
の概要	・事業延長:310m(交通広場2,800㎡)、計画幅員:16m ・多摩地域における都市計画道路の第三次事業化計画路線において優先路線として位置づけられている。 ・国庫補助等 ・ひばりヶ丘駅北口まちづくり事業と連携して事業推進に努める必要がある。							
	事業開始時期 19	年度	実施形態	✓直営▽	委託 🗸 補助	一 その他 ()	
	項目		単位	19年度	20年度	21年度	目標 25 年度	
	事業費(A)			15,383	369,69		ļ	
	国庫支出金·都支出金	<u>.</u> L			195,242		1,658,45	
車	内地方債		千円	14,600	165,700	320,700	4,320,800	
事業費	訳 その他()		700	0.74	40.004		
費ご	一般財源		1	783	8,749	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	│└ ┤├───	
デー	所要人員(B)		人 千円	0	1.50 12,242	1.50 2 12,242	,	
タ	本	人件費(C)=平均給与×(B)		U	12,242	12,242		
	- 総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	15.383	381,933	3 723,428	-	
	単位当たりコスト		113	10,000	001,000	720,120		
	(E)=(D)/ (用地買収	面積)	千円	#DIV/0!	424	374		
	活動等指標		単位	19年度	20年度	21年度	目標 25 年度	
	用地買収面積	目標値	m²	0	900	1,932	7,00	
	道路延長	目標値	m		(0	31	
評価指	(指標の説明 など) 当該年度の用地買収面積							
指標	成果指標		単位	19年度	20年度	21年度	目標 25 年度	
の	一 次 用地買収率	目標値	%	0	(11	10	
設定		実績値 目標値	%	0				
Æ	二 次 整備率 次	実績値	% %	0		0	10	
	(指標の説明 など)		70				<u> </u>	
	事業費計と全体事業費の割合							
事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)		ひばりが丘駅北口を早急に整備し、活力あふれるまちづくりを願いたい。					
	事業実施上における制約や 財源確保等		国庫補助事業(都市計画街路事業)					
	代替・類似サービスの有無		有無					

コード	事務事業名	所管部課
(85) 8-1-5	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3·4·21号線)	都市整備部道路建設課(旧都市計画課)

【一次評価】

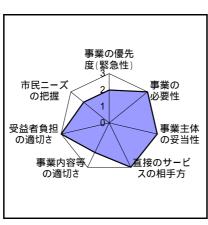
検証項目	ランク	
事業の優先 度(緊急性)	3	
事業の 必要性	3	
事業主体 の妥当性	3	Ş
直接のサービ スの相手方	3	
事業内容等 の適切さ	3	
受益者負担 の適切さ	3	
市民ニーズ の把握	2	



一次評価	判断理由及び事業化する上での課題等
」事業化□実施を延期□抜本的見直し□計画を中止	本地区のまちづくりは、新市建設計画の 重点施策に位置付けられ、現在、全力を挙 げて推進している。また、駅前の都市基盤 整備が遅れているため、防災面、安全面、 景観面での課題が多い。これらの課題を解 決するため、駅前広場と幹線道路の整備を 行う。 一方で、交通利便性の高い地区であるた め、古くから商店街が狭小道路の沿道にあ も、まちのにぎわいを創出しているが、道 路整備によりその一部が消失することとな る。古くからのまちのにぎわいを損なうこと なく、新たなまちづくりにより更に地区全体 のまちのにぎわいを醸成することを目的とし ている

【二次評価】

検証項目	ランク
事業の優先 度(緊急性)	2
事業の 必要性	3
事業主体 の妥当性	3
直接のサービ スの相手方	3
事業内容等 の適切さ	2
受益者負担 の適切さ	3
市民ニーズ の把握	2



二次評価	判断理由及び事業化する上での課題等
☑事業化	新市建設計画の重点施策の一つに位置づけられる事業であり、早期の事業着手を図るべき路線である。一次評価にもあるように、駅前での道路新設が地区のまちづくりに与える影響に充分考慮し、事業進ちょくに向けて一層の工夫を図られたい。
□実施を延期	
□抜本的見直し	
□計画を中止	

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業化する上での課題等
✓事業化	沿道のまちづくりにおける官民の役割分担に留意し、引き続き都市計画道路事業の認可に向けて努力されたい。
□実施を延期	
□抜本的見直し	
計画を中止	